

伊方町立小・中学校の耐震化状況について

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であると共に、災害時等には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保が非常に大切です。

伊方町には、昭和56年以前の非木造建物のうち耐震化が必要な建物は7棟有り、順次、耐震診断を実施し危険度が高く緊急に整備する必要があるものから耐震化を進めております。

つきましては、伊方町内の学校施設の耐震化の状況をお知らせいたします。

町内の小中学校耐震化の状況一覧

(平成25年4月1日現在)

学 校 名	構造階数	建物区分	建築年月	面積 (㎡)	1次診断 (Is 値)	2次診断 (Is 値)	備 考
伊方小学校	R3	校舎	S52.03	1,584	0.32	0.47	
二見小学校	R2	校舎	S44.02	863	0.53	0.28	
二名津小学校	S2	体育館	S52.03	532	0.32	0.54	
佐田岬小学校	R2	校舎	S56.03	1,015	0.88	0.74	
伊方中学校 18棟	R3	校舎	S50.02	976	0.17	0.25	
〃 19棟	R3	校舎	S54.01	1,476	0.28	0.45	
〃 20棟	R2	校舎	S54.03	522	0.58	0.64	

- ・ 構造階数欄に「R」とあるのは鉄筋コンクリート造、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- ・ 「1次診断」とは、個別の建物の耐震性能を簡略的に評価する診断方法で、「2次診断」とは個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法です。
- ・ 「Is 値」とは、建物の耐震性能を数値化したもので、その数値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
- ・ 「Is 値」は、その棟の診断箇所での最低値を記入しています。